（1990年7月13日 第三種郵便物認可）

自治労きょうと

毎月1日、15日発行

10／15 2023 第867号

発行所・自治労京都府本部・〒604－0867 京都市中京区丸太町通烏丸西入北側N・H・Kビル2F
TEL.075－252－5932・FAX.075－231－4918　発行人・岡本哲也　編集人・森本尚秀
定価　一部10円　本紙の購読料は組合費に含まれています。

ご意見をお寄せください

自治労京都府本部では、組合員のみなさんのご意見を募集しています。組合のこと、機関紙のことなど、たくさんのご意見をお待ちしています。
TEL.075-252-5932　FAX.075-231-4918
E-mail : jichiro@jichiro-kyoto.gr.jp
http : //www.jichiro-kyoto.gr.jp/

府本部第88回定期大会

誰一人取り残されない社会の実現へ

組合員の声を集め、運動の前進を

▲府本部の闘争勝利に向けたガンバロー

府本部は9月30日、第88回定期大会を京都市中京区のウィングス京都で開催した。

2024・25年度運動方針と当面の闘争方針など7つの議案が提案され、すべての議案は原案どおり可決された。また、役員選挙を行い2024・25年度の府本部執行体制を確認した。出席代議員は22単組から122人、女性参画率は31・15％となった。

大会は午後1時に開会。京都競輪労組の田中代議員と宇治田原町職の衣川代議員を議長に選出した。岡本執行委員長の主催者あいさつに続き、森下本部政治政策局長、門川京都市長など、10人の来賓から激励・連帯のあいさつを受けた。

議長による大会成立宣言のあと、執行部より2023年度諸報告が行われた。一般経過報告、会計決算報告、会計監査報告がされ、質疑討論を経て承認された。

続いて、7つの議案が執行部より提案された。①2024―25年度運動方針（案）、②当面の闘争方針（案）、③一般会計・特別会計予算（案）、④男女がともに担う府本部アクションプラン（案）、⑤自治労京都府本部臨時執行委員・特別執行委員・顧問の定数と選任（案）、⑥監査法人の承認（案）、⑦府本部救援委員の選出（案）。すべての議案は質疑討論・採決を経て、原案どおり可決された。

▲田中・衣川大会議長

会場討論では、ワークルールや男女平等に関する報告や意見が出された。

2024―25年度の2年間の任期となる役員選挙が行われ、岡本執行委員長をはじめとする四役・執行委員・会計監査委員32名が信任された。

その後、大会宣言を採択し、最後に森本新副執行委員長の発声による力強い団結ガンバローで大会を締めくくった。

（2・3面に関連記事）

八幡市長選挙

川田翔子さんの推薦を決定

11月5日告示・11月12日投開票

▲府本部大会で決意表明する川田さん

府本部は堀口市長の退任に伴う八幡市長選挙において、川田翔子さん（33歳・無所属）の推薦を決定した。

川田さんは京都大学卒業後、京都市役所で7年間勤務し、自治労京都市職での組合経験もある。組合との対話ができる市長候補の必勝に向け、組合員のみなさんのご協力をお願いしたい。

「白砂青松」を守る

天橋立クリーン大作戦
＆交流バーベキュー大会

府本部は9月23日、京都府北部・天橋立で天橋立クリーン大作戦＆交流バーベキュー大会を開催。府内各単組から組合員や家族など44人が参加した。天橋立は5000本の松並木と白い砂「白砂青松」が約3・6㎞続き、年間約300万人の観光客が訪れる景勝地だ。京都市内や南部単組からはバス一台を貸切り、朝8時に京都駅を出発。北部単組からは現地集合とし、京都府丹後土木事務所や宮津市役所の協力を受け、10時からのボランティア活動を開始した。

はじめに京都府丹後土木事務所より作業内容の説明を受けた。作業内容は、松並木や浜辺の清掃や落ち葉（松葉）拾い。落ち葉を拾う理由として、本来松は栄養の少ない砂の上でも育つ植物。今は落ち葉や雑草などが腐植土となり栄養過多な状況で反対に松枯れしてしまうという。丹後土木事務所では、天橋立の「白砂青松」を守るため「天橋立まもり隊」という取り組みで保全活動に取り組んでおり、府本部の取り組みもその一環となった。清々しい天候の中、約1時間半の作業で大量のごみ袋の松葉が集まった。

ボランティア活動終了後は、セントラーレ・ホテル京丹後に移動しバーベキューを楽しんだ。普段なかなか話す機会のない北部や市内・南部単組同士の交流に、和気あいあいと充実した時間が流れた。今後も継続していきたい。

ユニカレ★国会見学ツアー参加者募集

【日時】11月24日（金）～25日（土）※2日目は自由行動
【内容】国会見学・岸まきこ参議院議員との意見交換ほか
※各単組を通じて府本部まで申し込みを。

双思交

朝晩めっきり涼しくやっと秋らしくなった。「ひやおろし」が美味しい季節だ。「ひやおろし」とは、冬に仕込んだ日本酒をひと夏ゆっくりと熟成させてから、涼しくなった秋口に出荷する日本酒のこと▼日本酒には「生酒」と「火入れ（加熱処理）した酒」の2種類がある。生酒は搾ってから出荷まで火入れされていない酒で、出来立てのフレッシュな味わいが楽しめる代わりに、酒質が不安定なため地元での消費や冷蔵庫のある一部酒販店のみで販売される。火入れした酒は、加熱処理を行うことで発酵を止め、味の変化を落ち着かせ、美味しい状態をキープすることができる▼通常行う2回目の火入れを行わないのは、造り手が「いまだ！」と思った最高の状態に熟成したお酒のまろやかさや風味を余すことなく味わってもらうため、「冷や（日本酒の温度で常温）」の状態で「卸す（出荷する）」ことから。「秋あがり」や「秋晴れ」といった情緒的な呼び方もされる。秋刀魚やキノコ類といった旨味の多い秋の味覚と合わせておいしく楽しもう。（N）

視覚障害その他の理由で活字のままでこの本を利用出来ない人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大写本」等の製作をすることを認めます。その際は著作権者、または、出版社まで御連絡ください。

組合員の声を集め要求に。労働組合の基本的な役割強化を。

組織の強化・拡大が重要

執行委員長
岡本　哲也

委員長あいさつ

府本部の運動にご協力いただき組合員の皆様に心より感謝申し上げ、ご臨席いただいたご来賓の皆様にお礼を申し上げる。

2023年を振り返ると、コロナ禍は続いているもののスポーツ大会や新入組合員歓迎集会、ライブプラン&アースディコンサートなど、イベント的な取り組みも開催することができた。先日も組織強化・拡大と3ブロックによる単組間交流を目的として「天橋立クリーン大作戦&交流バーベキュー」を新たに実施したところだ。また、単組課題の把握に向けた個別アンケート実施やZOOMを活用したウェブ単組代表者会議など、何とか単組課題の共有化を図り、府本部と単組の連携を強化・共有し、ともに解決に向け取り組みを進めたい。

2023賃金確定闘争がはじまる。今年の人事院勧告は民間春闘を踏まえ大幅な引きげとなった。連合の春闘や物価上昇を踏まえると物足りない数字だが、初任給改善と全年代での月例給および期末手当の引きげは一定評価できる。会計年度任用職員の給与改定時期や勤勉手当支給に向けた条例改正も重要な課題となるので各組織のご労使協議をお願いする。

最後に、京都府内で首長選挙が立続けに執行される。八幡市では本日ご臨席いただいている川田翔子さんの推薦を決めた。大変厳しい選挙戦となるのでみなさんの積極的なご協力をよろしくお願いしたい。また、衆議院の解散総選挙の準備も進めなければならない。さらに2025年夏に執行予定の第27回参議院選挙では自治労組織内の岸まきこ参議院議員を比例代表の予定候補者として擁立することが確認された。岸まきこさんは会計年度任用職員の勤勉手当支給に関することやマイナンバーカードによる現場の混乱など現場の声を国会に届けて改善に向け取り組んでいる。府本部でも推薦を決定しているので、各単組や支部、分会の推薦をお願いしたい。今回、岸さんは現職で国会もあるため頻繁に京都に来てもらうことは難しい。リモートなども活用しながら少しでも多くの組合員と対話できる時間を作り、公共サービスの最前線で働く者の声を国会に届け、真に国民のための制度と政策を作りあげるため岸まきこさんの必勝をめざそう。

結びに、地方自治と財政の確立、男女平等、環境・平和・人権、組織強化と拡大など課題は多いが、代議員の皆さんの活発な議論で方針を豊富化していただくことをお願いし、主催者を代表してのあいさつとしたい。

2023確定闘争　人勧完全実施のため、すべての単組で組合員の声を集めた要求書を提出しよう

人事院は8月7日、官民比較に基づき、給与勧告をおこなった。月例給3869円、大卒初任給を1000円、高卒初任給を1200円引き上げるとともに、若年層に重点を置きつつ俸給表全体を引き上げた。一時金は、0・10月引き上げ、期末手当（0・05月）と勤勉手当（0・05月）に配分した。

各自治体の賃金・労働条件は人勧が出れば自動的に決まるわけではない。国会で給与法改正案が可決され、自治体議会が給与条例改正案を可決してはじめて確定する。このため、中央本部は総務省交渉や国会対策を、府本部は府や京都市の人事委員会対策や自治振興課交渉を行っている。

各単組では、自治体労働者の生活を守る賃金・労働条件の確保に向け、2023確定闘争では、「4つの重点課題」（別表）を次の通り設定する。

①給与の引き上げ改定

人勧を踏まえた初任給をはじめ、すべての職員の賃金および一時金の引き上げ。燃料費高騰に伴う自動車等の通勤手当など地域実情を踏まえた諸手当の改善。

②中途採用者の賃金改善

中途採用者の初任給格付けは、職務に応じた級で決定できるよう求め、号給の決定は民間職務経験を100%とすることを求める。必要に応じて在職者調整を行うよう求める。

③運用改善に向けた1単組・1要求

すべての自治体単組で目標とする賃金の到達水準を確認し、初任給引き上げや昇給の運用、到達点の改善など単組事情を踏まえた具体的運用改善を求める。

④会計年度任用職員の処遇改善

勤勉手当支給できるよう条例改正を求める。給与改定に当たっては常勤職員と同様4月に遡って改定を求める。賃金・労働条件は常勤職員との均等・均衡に基づき改善を求める。

各単組は組合員の声を集め、上記重点課題に各単組の独自課題を加えた要求書の提出、交渉配置をお願いしたい。

府本部の闘争指標や具体的な日程、戦術などは2023自治体賃金確定闘争推進会議（10月25日）で確認する。

2023確定闘争　4つの重点課題

○給与の引き上げ改定をおこなうこと。
○中途採用者の賃金改善をおこなうこと。
○賃金の運用改善にむけ、「1単組・1要求」を行うこと。
○会計年度任用職員への勤勉手当支給にむけた条例改正を行うとともに、常勤職員との均等・均衡に基づいた処遇改善を行うこと。
　また、給与改正にあたっては常勤職員と同様に遡及改定を行うこと。

来賓あいさつ

本大会に多数のご来賓にお越しいただき、また、激励の祝電・メッセージをいただきましたみなさまにお礼申し上げます。

自治労中央本部
森下　元
総合政治政策局長

自治労は秋の確定闘争を重要な闘いと位置付ける。物価高騰が組合員の生活を圧迫する中、現場で奮闘する組合員の期待に応えるためにも、人勧だけでなく運用改善も含め勝ち取ってほしい。もう一点は2年後の参議院選挙。自治労の政策実現、地域公共サービス維持のため、自治労の代表として、組織内・岸まきこの圧倒的再選をめざす。各単組、組合員への周知徹底をお願いしたい。

連合京都
原　敏之
会長

立憲民主党京都府連
福山　哲郎
参議院議員

自治労京都府自治体議員連合
福田佐世子
八幡市議会議員

京都府
義本　知史
労働政策室長

国民民主党京都府連
前原　誠司
衆議院議員

部落解放同盟京都府連合会
宮崎　茂
副委員長

京都市
門川　大作
京都市長

岸まきこ
参議院議員

8月末に行われた函館大会で2年後の参議院選挙に2期目の挑戦をすることを決定いただいた。2019年の当選から色んなことがあったが、一番は新型コロナへの対応だ。公共サービス現場の脆弱性が表面化したといわれるが、大きな原因は国の政策だ。この間、自民党政権が公共サービスを小さくし、正規から非正規に置き換え、民間委託を進めてきた。自治体の業務は山積しているがマンパワーは限界がある。長時間労働もメンタル不調の多きも、そもそもの国の公共サービスの考え方が間違っているのではないか。住民目線にたった現場の声を国に届けたい。組合員のみなさんの圧倒的なご支援をお願いしたい。

2024―2025年度 自治労京都府本部執行体制

副執行委員長
梶村　佐知
（自治労京都市職）

副執行委員長
中谷　文明
（京都交通労組）

副執行委員長
森本　尚秀
（自治労京都市職）

執行委員長
岡本　哲也
（自治労京都市職）

執行委員
太田由紀子
（京都市学給労）

書記次長
西村　友喜
（国保労組）

書記長
増永　浩子
（八幡市職労）

副執行委員長
川戸　英美
（城南衛管労組）

執行委員
寺田　晧介
（八幡市職労）

執行委員
阪根　孝則
（福知山公企労組）

執行委員
上田恵理香
（京都市学職労）

執行委員
今道　雄三
（自治労府職）

執行委員
西野　貴美
（公共UN）

執行委員
清水　万人
（ユース職組）

執行委員
植村知矢子
（国保労組）

執行委員
友本　浩嗣
（自治労城陽市職）

執行委員
志場　吉洋
（京田辺市職）

執行委員
樑田　博之
（自治労京都市職）

執行委員
山下　塚
（自治労京丹後市職）

執行委員
大坪州一郎
（木津川市職）

執行委員
滝川弘太郎
（京田辺市職）

執行委員
西岡千恵美
（京都市学給労）

執行委員
小笠原　隼
（久御山町職）

執行委員
岩本　美菜
（八幡市職労）

執行委員
梅田　涼
（京都交通労組）

執行委員
石田　秋則
（亀岡環境労組）

執行委員
鈴木　琢也
（宇治田原町職）

執行委員
下村　幸児
（自治労京都市職）

会計監査委員
大嶋　宏明
（宇治田原市職）

会計監査委員
岡根　良太
（国保労組）

会計監査委員
横田　未来
（福知山市職労）

執行委員
北村　和美
（自治労京都市職）

臨時執行委員
山本　篤志

退任役員のみなさま

副執行委員長　小西　一実（自治労京都市職）
〃　丸本　早苗（京都市学職労）
書記次長　西山　新吾（国保労組）
執行委員　阿磨　晴明（木津川市職）
〃　中村　怜（自治労城陽市職）
会計監査委員　小野　智之（久御山町職）

ありがとうございました。

ワークルールや組織強化、男女平等で熱心な会場発言

発言要旨

▲京丹後市職
吉岡代議員

（経過報告）

▼京丹後市職・吉岡代議員…京丹後市では合併による広域に分散した職場での情報共有や労組活動の困難さが課題。そんな中、北部地域での美化活動や交流バーベキューを通じて、普段話す機会のない府内組織の仲間との交流で改めて労働組合の存在の重要性を認識した。組合員一人ひとりが働きやすい職場づくりに向け少しずつでも取り組みを進めたい。

（運動方針）

▼国保・江藤代議員…現在、医療DXや自治体DXなどデジタル化が急速に進行中。国保連職場も転換期で、会員の拡大や業務領域の拡張が検討されている。市町村全体を会員とする動きに対する備えとニーズ把握が急務となるため、府本部の社会保障制度検討委員会を通じて議論を進めたい。

▲国保労組
江藤代議員

▼八幡市職労・井上代議員…①36協定：八幡市役所で時間外勤務の問題が長らく存在し、市職労は36協定締結を要求してきた。新庁舎運用開始後、管理システム導入にあわせ2023年9月に協定を締結した。②八幡市長選挙：現職の堀口市長が退任し、後任に川田翔子さんを指名した。市職労は川田さんを推薦している。組合と市政対話できる候補の必勝にむけ各単組の協力をお願いしたい。

▲八幡市職労
井上代議員

▲城南衛管
前田代議員

▼城南衛管労組・前田代議員…①労安活動：安全衛生向上に取り組んでいるが最近メンタル不調や入院を伴う重大事故が発生し、安全衛生委員会や意識の見直しが必要。安全衛生の意識向上を重要視し、運動方針に基づく取組を継続し、府本部の協力をお願いしたい。②公正なワークルール・自治労の一部県本部で36協定不履行が報道された。労働者の権利保護に向け、自治労本部への説明と公正なワークルールの維持を求める。

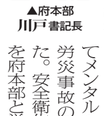
▲京都市職
梶村代議員

▼京都市職・梶村代議員…男女平等関連2点。①代議員証の性別表示：女性参画率把握のため必要と思うが、ジェンダー平等の観点から性別の表示を副本のみとするなど工夫をしてはどうか。②府本部委員会改善：男女がともに担う府本部委員会が受け身な会議であると感じた。より有意義な会議のあり方について意見交換できる場などの検討を要望したい。

▲京都府職
東代議員

▼京都府職・東代議員…ジェンダー平等社会の推進について。京都を含む全国の労働委員会では、公益委員と労働委員とも全員男性の事例が多い。女性を候補者として積極的に含めるよう自治労として働きかけをお願いしたい。

回答要旨



▲府本部
川戸書記長

▼川戸書記長…【経過報告】【京丹後市職】「天橋立クリーン大作戦」への協力に感謝。組織強化は、北部単組に限らず組合活動の活性化と単組間の連携強化が重要。今後、南部や市内・乙訓ブロック協議会との交流も促進する。全単組の協力をお願いしたい。

【運動方針】【国保労組】国保連合会の情勢と課題について提起。社会保障制度検討委員会の活性化に向け各単組からの協力を求める。

▲府本部
増永副委員長

【八幡市職労】36協定と八幡市長選挙についての取組に感謝。他の単組での学習と市長選挙への協力をお願いしたい。

【城南衛管労組】労働安全衛生における課題としてメンタルヘルス不調と労災事故の報告を受けた。安全衛生活動の強化を府本部と単組で進めたい。また、一部県本部での報道で、府本部では36協定やハラスメント対策方針の議論を進行中であり、書記労との協議を通じて方針策定を推進する。

▲府本部
中谷副委員長

▼増永副委員長…【京都市職】代議員証への性別記載方法について協議・検討する。また、男女がともに担う委員会でのグループワークも検討し、具体的な実施に向けた取り組みを進めたい。

【京都府職】全国的に男性の比率が高い労働委員会についての指摘に同意し、労働者側から女性委員の選出を推進すべく、連合京都を通じて要請したい。

▼中谷副委員長…【学給労】組員減少やコロナ禍以前の活動に戻す中での繰越金の減少など前年度比で予算が1800万円減少した。府本部の財政状況は厳しいが会計年度任用職員をはじめとする組織拡大に取り組むことが重要だ。各単組の協力をお願いしたい。本部の上納金の値上げには反対の立場を取っていきたい。

▲学給労
豊田代議員

▼学給労・豊田代議員…2024年度の一般会計予算で1800万円の収入減少に驚いている。経費削減策と組合員の増加見込みがない状況での予算立案について質問する。また組合費の見直しについては各単組の負担増とならないようお願いしたい。

労働

ディーセント・ワークを実現するために

ディーセント・ワークとは

ディーセント・ワークは、1999年の第87回国際労働機関（ILO）総会で「21世紀のILOの理念・活動目標」として提起された。正式な訳語は「働きがいのある人間らしい仕事」。

連合が掲げる4つのチェック項目

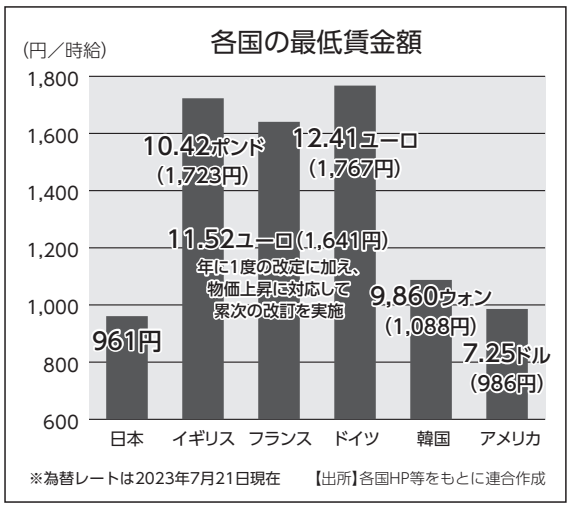
連合は、ディーセント・ワークを実現するための具体策として、以下の4項目を掲げ、すべての働く人たちにセルフチェックを呼びかけている。①「権利が保障される仕事」、②「十分な収入を生み出す仕事」、③「適切な社会的保護が与えられる仕事」、④「十分な仕事があること」。

安定して働けていますか？

近年、「フリーランス」と言われる働き方が増えている。ある調査機関では500万人とも言われている。専門性とそのスキルで個人事業主として自由度が高く、副業としても認められることに加えITの活用が進み、職種によっては新たなサービスや就業地を選ばないなど、その幅の広さも増加の要因である。

一方、業務委託先との間で不当に低い委託費や支払いの遅延などをめぐってトラブルが多く、また病気やケガ、育児・介護などで仕事が十分にできないと、その分収入は得られないといったリスクも考えられる。さらに個人事業主であるため労働者保護である「労働法」が適用されない。フリーランス保護法が施行されているが、安定して働き続けるという点では、見直すべき点が多いのではないだろうか。

フリーランスの枠組みではないパート・アルバイト、契約社員や派遣社員には前述の労働法の適用があるものの、安定して働き続けることと安心して働けるという点では、失業対策・補償などの社会保障制度の抜本的な見直しが必要ではないか。



給与は十分ですか？貯金はできますか？

最低賃金は全国加重平均で時間額1000円を超えたが、年収200万円以下ではワーキングプア（働く貧困層、生活保護と同等レベル：192万円）と言われる現在では、仮に時給1000円でフルタイム1年間働いたとしても、ようやく200万円に手が届くほどだ。最低賃金を世界の国々と比較すると別表のように日本は低いことがわかる。

また、パートタイム労働者を引いた2022年の日本の一般労働者（無期限もしくは1カ月以上の期間雇用されている常用労働者）の平均年収は約496・5万円であった。

物価高騰が進む中、将来不安を払拭するような賃金構造、社会環境にならないと個人消費が伸びない。2024春闘では2023年に続き、さらなる賃上げと最低賃金の引上げ、その波及効果をもたらすようあらゆる運動を展開していく。

仕事とプライベートそのバランスは？

1980年代と比較すると長時間労働は減少傾向にあるものの、業種・職業によっては必ずしもそうではない。新型コロナウイルスが感染症5類に移行し経済活動が戻りつつあるが、雇用環境が整わない産業では、労働者不足による長時間労働や過重労働が増加していると思われる。

その仕事に働きがいを見出し、労働の対価である給与を豊かな生活と生きがいに還元できるライフスタイルが新たな労働意欲につながる。そんなサイクルをめざすべきである。

差別による不当な扱いを感じませんか？

連合大阪フェアワークセンターには、年間約2000件の相談が寄せられる。内容別にみると差別（いやがらせ、ハラスメント）が約2割あり、ワースト1だ。この傾向は、4年前から始まっている。「パワハラ防止法」が2020年6月に施行され、2022年4月には中小企業への適用されているにもかかわらず、相談件数は減少していない実態だ。昔から言われている「困ったときはお互いさま」の心を失ってしまったのだろうか。人間の尊厳を守り、連合がめざす誰もが多様性を認め、互いに支え合うことのできる職場・社会の実現が急務である。

誰もが「ディーセント・ワーク」を実現するためには、職場、社会が変わらなければならない。多様な働き方を認めるだけではなく、多様な働き方を支える仕組みを作ってこそ、真の働き方改革だ。それが「ディーセント・ワーク」の実現につながっていくのではないだろうか。

連合大阪オルガナイザー　久保　真光

↓動画で分かりやすく解説

《ディーセント・ワークの解説動画⬅》

政治・政策について学習

近畿地連青年女性協議会
サマーセミナーin京都

近畿地連青年女性協議会は9月9～10日の2日間、KKR京都くに荘にて、サマーセミナーを開催。府本部から8人（うち女性4人）が参加した。

初日は、自治労本部総合組織局の林鉄兵強化拡大局長を講師に迎え、「自治労が取り組む政策実現」と題した講演を受けた。林局長をはじめ自治労本部がおこなう政府の政策に対する要請行動等について、体験談を交えて話を聞いた。

続いて行われたグループワークでは、講演の内容を踏まえ、林局長に質問したいことを各グループで討論。これまでの組合活動における悩みなどを報告し、悩みの解決方法について討論しながら、悩みの共通部分を林局長に質問し、回答を受けた。

二日目は、「国政の課題と私たちの取り組み・政治闘争の強化に向けて」と題し、自治労組織内の鬼木まこと参議院議員から講演を受けた。鬼木さんは、参議院議員の活動内容や、単組や自治労本部の組合活動で行き詰った時に政治が必要になること、それに伴う組織内議員の必要性について力強く訴えた。

最後に、鬼木議員への質疑をグループワークで討論。若者の政治離れについて質問し、「若者だけではなく、政治は生活に密接することを知ってもらうことが大事」と回答を受けた。

2024年度ジェンダー平等推進キャッチコピーの募集

自治労はこの間、男女平等推進を重要課題と位置付け取り組みを続けてきた。2024年度以降は新たに決定した「自治労ジェンダー平等推進計画」を基本に取り組みを進める。この取り組みを進めるために、下記の通り、「ジェンダー平等推進・啓発用ポテッカー」のキャッチコピーを募集する。組合員のみなさんの積極的な応募をお願いしたい。

1. キャッチコピーのテーマ
①職場におけるジェンダー平等を進める際の課題を意識できるもの
②男性の育児参画、家族介護参画の促進を啓発する内容
③LGBTQ+を含めたジェンダーハラスメントやセクシュアル・ハラスメントなどの防止を呼びかけるもの
2. 入選作品の取り扱い
①特賞（2本）：キャッチコピーをポテッカーに採用。
②入選作品には、薄謝進呈。
特賞（2本）　商品券：各10,000円分
佳作（6本）　商品券：各 3,000円分
3. 応募締切　11月17日（金）府本部必着
4. 応募方法　下記内容を記載の上、府本部まで送付ください。
【①単組名・支部名②お名前③連絡先④キャッチコピー⑤キャッチコピーの意図・意味（簡単でOK）】

じちろう
マイカー共済
自動車総合補償共済
カーライフを応援する、頼れる補償
ここがおすすめ 4つのポイント
1 団体割引32.5%※ 組合員ならではの団体割引適用で掛金負担を軽減！
団体割引は多くの組合員の利用と安全運転に支えられています。
2 契約者＝組合員で、同居の家族の車も加入できます！（もちろん団体割引も適用）
3 自治体職員に心強い、起訴前の弁護士費用にも対応する特約をセット！
4 長期間、無事故の優良ドライバーなら最大22等級・64%割引！（原付自転車を除きます）
掛金体系変更による職域掛金の廃止に伴い割引率を変更
2021年11月更新契約より（新規契約は2021年10月効力開始契約より）
契約にあたってはパンフレットをご覧ください。
2021年11月改定版
こくみん共済 coop NEWS
5120A146

なるほど納得！
自治労共済推進本部は「7才の交通安全プロジェクト」に取り組んでいます。
不明な点があれば、まずは組合にご連絡ください。
こくみん共済〈全労済〉coop 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済推進本部
全日本自治体労働者共済生活協同組合
※団体割引は、車種や補償内容により割引率が異なる場合があります。また、毎年11月時点の実績により変動することがあります。
「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地(先)の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。